Asada

環境を守る親切ツール

高圧洗浄機 14/170・15/200

取扱説明書

高圧洗浄機14/170

高圧洗浄機15/200

【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

IM1301

高圧洗浄機 14/170・15/200

安全にご使用いただくために

このたびは、高圧洗浄機 14/170・高圧洗浄機 15/200 をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところへ大切に保管してください。
- 本機を用途以外の目的で使用しないでください。
  本機は、各現場での洗浄作業に使用するものです。製造ラインなどに設置して使用するものではありません。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  - ご注文の商品の仕様と違いはないか。
  - 輸送中の事故等で破損・変形していないか。
  - 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または弊社支店・営業所にお申し付けください。
（本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。）

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の 3 つのレベルに分類されます。

⚠ 危険 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。

⚠ 警告 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。

⚠ 注意 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。
または、本機に損傷をもたらす状態。

目　次

安全上のご注意 …… 2

製品の構成 …… 5
- 各部の名称（高圧洗浄機 14/170） …… 5
- 各部の名称（高圧洗浄機 15/200） …… 6
- 仕　様 …… 7
- 標準付属品 …… 7
- 別 販 売 品（高圧洗浄機 14/170・15/200 共通） …… 8

使用方法 …… 9
- 使用環境 …… 9
- 設　置 …… 9
- 電源への接続 …… 10
- ポンプオイルの補給 …… 10
- 標準付属品および別販売品の確認 …… 10
- 給水ホースの準備 …… 11
- 高圧ホースとガンの接続 …… 11
- 運　転 …… 12
- 始動方法 …… 12
- 洗浄作業 …… 13
- 洗剤の混入方法 …… 14
- 洗管ホース（別販売品）の使用方法 …… 15
- 作業の終了 …… 16

保守・点検 …… 17
- ポンプオイルの交換（高圧洗浄機 14/170） …… 17
- ポンプオイルの交換（高圧洗浄機 15/200） …… 18
- フィルタ・ストレーナの点検 …… 19
- ノズルの清掃 …… 19

修理・サービスを依頼される前に …… 20

安全上のご注意

● ここでは、本機を使用するにあたり、一般的な注意事項を示します。
● 作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載しています。

⚠ 危険

◆ 本機を使用用途以外の用途には使用しないでください。
本機は、各現場での洗浄作業に使用するものです。製造ラインなどに設置して使用するものではありません。

◆ 火災・爆発を防止するため、作業場所に注意してください。
可燃性の液体（ガソリン、シンナーなど）やガスのある場所で使用しないでください。
スイッチは開閉時や使用中火花を発することがあります。

◆ 修理技術者以外は絶対に分解しないでください。

◆ 改造は絶対に行わないでください。

◆ 洗剤を使用する場合は中性洗剤を使用し、ガソリン・シンナーなどの有機溶剤や強酸性溶剤・強アルカリ性溶剤の他、劇物・毒物などは絶対に使用しないでください。
思わぬ事故を招く原因になります。特殊な洗剤などを使用する場合には必ず、販売店、または弊社支店・営業所にお問い合わせの上、安全を確認してから使用してください。

◆ ガンを絶対に人や動物、本機、電気器具類に向けないでください。
誤って噴射すると大変危険です。
本機や他の電気器具、電源などに噴射するとショートしたり、感電する恐れがあります。

◆ ガンのトリガーを引いたままの状態で固定しないでください。
不意に電源が入ると高圧水が噴射され危険です。

◆ ガラスなど粉砕されやすい物に向けて噴射する場合は、十分注意して行ってください。
対象物が粉砕、破壊されて危険です。

高圧洗浄機 14/170・15/200

⚠ 警 告

◆ **この取扱説明書を事前によく読み、正しい取り扱い方法を十分に理解の上、操作してください。**

◆ **本機を操作する前に、必ず本書の P.9『使用方法』の作業を行ってください。**

◆ **間違いなく取り扱うため、各部の操作に慣れ、すばやい停止方法を習得してください。**

◆ **本書および弊社カタログに掲載されている指定の付属品や別販売品以外は使用しないでください。**
事故の原因となります。

◆ **本機を落としたり、ぶつけた場合は、破損・亀裂・変形などがないか点検してください。**
破損・亀裂・変形などがある状態で作業を行うと、怪我や事故の原因となります。

◆ **関係者以外は、作業場所に近づけないでください。特にお子様には十分注意して、絶対に触らせないでください。**

◆ **疲労・飲酒・薬物などの影響で作業に集中できないときは、操作しないでください。**

◆ **本機を操作しないときは、乾燥した場所で子供の手が届かない、または鍵のかかる場所に保管してください。**

◆ **結果の予測ができない、または確信の持てない取り扱いは行わないでください。**

◆ **噴射を止めて電源スイッチを OFF にしても、ポンプ内や高圧ホースには残留した高圧水があるので、一度トリガーを引いて内部の圧力を逃がしてください。**

◆ **ガンの取り扱いには十分注意し、不意の噴射による事故防止に心がけてください。**

◆ **本機から離れるときや、保守・点検のときには電源スイッチを OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
思わぬ事故の原因になります。

◆ **目を保護するため、作業中は必ず保護めがねを着用してください。**
噴射水が砂や泥などと一緒に跳ね返ってくることがあります。

◆ **作業場所は整理・整頓し、いつもきれいな状態で十分な明るさを保ってください。**
作業環境が悪いと事故の原因になります。

◆ **濡れた手で電源操作しないでください。**
濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、電源スイッチを操作すると感電する危険があります。

◆ **ゴム靴などを履いて作業してください。**
濡れた床で作業する場合には、ゴム靴などを履いて濡れないようにするとともに、感電には十分注意してください。感電する危険があります。

◆ **必ず接地（アース）を行ってください。**

◆ **電源プラグは、常に点検して異常がないことを確認した上、ガタつきがないようにしっかりとコンセントに差し込んでください。**
電源プラグに、ホコリ、油脂分が付着していたり、接続が不完全な状態では感電や火災の原因となります。

◆ **電源コードは他の電気器具と併用したり、タコ足配線をしないでください。**
火災の原因となります。

◆ **電源コードを引っ張ったり、電源コードでプラグの抜き差しを行わないでください。**
感電や火災、怪我の原因となります。

◆ **電源は必ず所定の種類、容量をご使用ください。**
発熱、発煙、発火の原因となります。
機銘板や本書に記載されている仕様を参照してください。

⚠ 注 意

◆ **冬季など 0℃以下になる場所では、必ず水抜きを行ってください。また、0℃以上の屋内に保管するようにしてください。**
ポンプを凍結させると破損する恐れがあります。

◆ **本書の P.17『保守・点検』を参照し、各部の保守・点検を行ってください。**

◆ **本機の異常（異臭･振動･異常音など）に気づいたときは､直ちに運転を停止し､本書の P.20『修理・サービスを依頼される前に』を参照してください。また、むやみに分解せず点検や修理を依頼してください。**
修理はお買い上げの販売店、または弊社支店・営業所へお申し付けください。

◆ **水道に直結して使用する場合は、地方自治体の水道法の法的規制を受ける場合があります。**
詳細については、所轄の自治体にお尋ねください。

◆ **泥水などは使用しないで、必ず清水を使用してください。**
ポンプが故障する原因となります。

◆ **運転中、ポンプより少量の水が漏れることがありますが、1 分間に 5 滴程度までの水漏れは故障ではありません。**
それ以上の水漏れが発生している場合には、販売店、または弊社支店・営業所へご連絡ください。

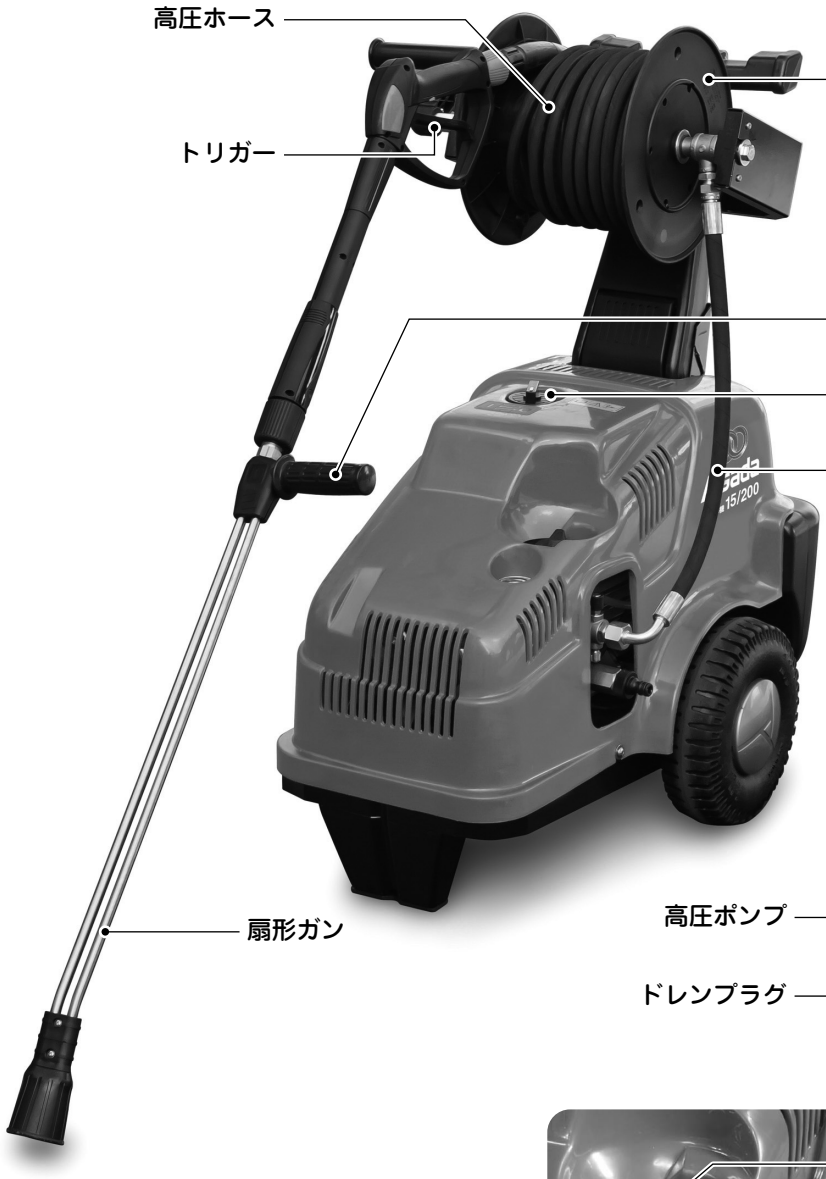
◆ **作業前には、ガン・高圧ホース・洗管ホースなど各標準付属品や別販売品を点検してください。**
これらの付属品に損傷があった場合、高圧水が噴出する恐れがあります。
特に洗管ホースに損傷があった場合、作業中に先端部が破損し、配管内に部品が残る場合があります。

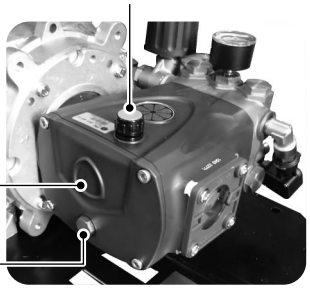
高圧洗浄機 14/170・15/200

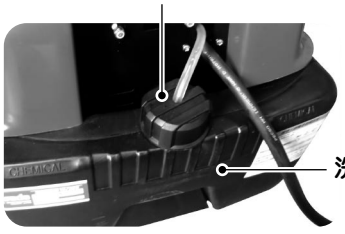
製品の構成

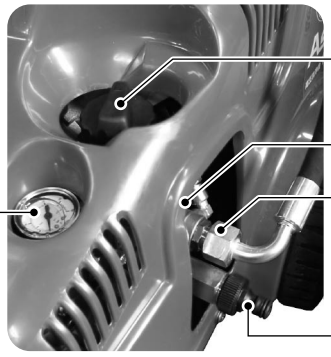
各部の名称（高圧洗浄機 14/170）

各部の名称（高圧洗浄機 15/200）









高圧洗浄機 14/170・15/200

仕　様

品　名	高圧洗浄機 14/170		高圧洗浄機 15/200	
コード No.	HD14170E	HD14170	HD15200E	HD15200
周波数	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
モータ	三相 200V 5.1kW 電気設備容量 20A 以上		三相 200V 6.5kW 電気設備容量 30A 以上	三相 200V 6.8kW 電気設備容量 30A 以上
回転数	1450 min^{-1}	1750 min^{-1}	1450 min^{-1}	1750 min^{-1}
吐出水量	13.2 L/min	14 L/min	15 L/min	
圧　力	14.2 MPa (145kg/cm^2)	16.7 MPa (170kg/cm^2)	19.6 MPa (200kg/cm^2)	
給水可能温度	40℃以下			
使用オイル	4 サイクルエンジンオイル　SAE30 番　10W-30			
給水方式	水道直結方式			
質　量	51kg		68kg	
外観寸法	L740 × W540 × H880 mm		L740 × W635 × H930 mm	

標準付属品

コード No.	品　　名	14/170	15/200
HD41002	扇形ガン	○	○
HD41003	高圧ホース 10m（ホースリールに巻いています）	○	○
HD28022	水道直結ホース組（メスカプラ、ホース 10m、ホースバンド）	○	○
HD28023	オスカプラ	○	○
86002	六角棒レンチ 4mm（※高圧洗浄機 14/170 のみ）	○	−
86003	六角棒レンチ 5mm（※高圧洗浄機 14/170 のみ）	○	−
IM0291	取扱説明書	○	○

別販売品（高圧洗浄機 14/170・15/200 共通）

コード No.	品　名
HD41009	バリアブルランス
HD422	ターボランス
HD04019	ターボガン
HD06003	タービンガン
HD06004	ハンドガン
HD06002	デュアルガン
HD06005	残水処理キット
HD06006	1/4”洗管ホース× 10m
HD06007	1/4”洗管ホース× 20m
HD06035	1/4”PU 洗管ホース× 10m
HD06036	1/4”PU 洗管ホース× 20m
HD06008	1/4”SUS 洗管ホース× 10m
HD06009	1/4”SUS 洗管ホース× 20m
HD06037	1/4”PS 洗管ホース× 10m
HD06038	1/4”PS 洗管ホース× 20m
HD03210	1/4”ねじ式洗管ホース× 10m（※ホースのみ、コック有）
HD03212	1/4”ねじ式洗管ホース× 20m（※ホースのみ、コック有）
HD03226	1/4”ねじ式 PU 洗管ホース× 10m（※ホースのみ、コック有）
HD03228	1/4”ねじ式 PU 洗管ホース× 20m（※ホースのみ、コック有）
HD03218	1/4”ねじ式 SUS 洗管ホース× 10m（※ホースのみ、コック有）
HD03220	1/4”ねじ式 SUS 洗管ホース× 20m（※ホースのみ、コック有）
HD03234	1/4”ねじ式 PS 洗管ホース× 10m（※ホースのみ、コック有）
HD03236	1/4”ねじ式 PS 洗管ホース× 20m（※ホースのみ、コック有）
HD38121	1/4”逆噴射ノズル M 型
HD38122	1/4”逆噴射ノズル M2 型
HD38123	1/4”逆噴射ノズル T 型
HD38130	1/4”逆噴射ノズル T 型前方 1 穴
HD38125	1/4”スズランノズル M 型
HD38126	1/4”スズランノズル M2 型
HD38127	1/4”スズランノズル M2 型（ピンタイプ）
HD00155	1/4”回転ノズル

※ その他にも多彩なアクセサリーをご用意しています。
弊社総合カタログをご覧頂くか、弊社支店・営業所までお問い合わせください。

高圧洗浄機 14/170・15/200

使用方法

使用環境

次の使用環境を十分考慮して、『設置』・『電源への接続』・『各ホースの準備・接続』を行ってください。

- 直射日光があたる場所、雨中、内部に水が入りやすい場所では使用しないでください。
- 周囲温度が 40℃を超える場所では使用しないでください。
- ガソリンなどの可燃物が存在する付近では使用しないでください。
- 給水設備が適切な容量であることを確認してください。
  【高圧洗浄機 14/170】⇒ 給水量：毎分 14ﾘｯﾄﾙ以上 / 給水圧力：0.2MPa
  【高圧洗浄機 15/200】⇒ 給水量：毎分 15ﾘｯﾄﾙ以上 / 給水圧力：0.2MPa
- 電気設備が適切な容量であることを確認してください。
  【高圧洗浄機 14/170】⇒ 三相 200V 20A 以上
  【高圧洗浄機 15/200】⇒ 三相 200V 30A 以上
- 発電機を使用する場合は、適切な容量であることを確認してください。
  【高圧洗浄機 14/170】⇒ 定格出力 15.3kVA 以上
  【高圧洗浄機 15/200】⇒ 定格出力 20.4kVA 以上
- 本機を設置して使用する場合は、保守・点検が容易に行うことができる場所に設置してください。
- 各ホース類や接続部に異常がないことを確認してから運転するようにしてください。

設　置

- 設置する床が丈夫で水平な場所を選定してください。
- キャスタに回り止めなどの処置を実施し、不意の移動がないようにしてください。
- 設置場所には、保守・点検が行いやすい場所を選び、本機の前には物を置かないようにしてください。

⚠ 注 意

◆ 精密部品を使用していますので、運搬は十分注意して行ってください。

電源への接続

① 本機の電圧と周波数が電源と合っているか確認してください。
② 電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。
③ 電源プラグを電源に接続してください。

⚠ 警 告

- **各端子への接続は確実に行ってください。**
  不完全な状態でプラグに差し込むと感電の危険があるだけでなく、火災の原因となります。
- **ガス管には、接地線（アース線）を絶対に取付けないでください。**
  爆発する恐れがあります。
- **感電防止のため、必ず接地（アース）を行ってください。**
- **接地工事（地中に接地極・アース板・アース棒を埋め、接地線を接続するなどの工事）を行うためには、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店にご相談ください。**
- **定格感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の感電防止用漏電遮断装置が設置されている場合でも、安全確保のため接地（アース）を行ってください。**
- **電源に感電防止用遮断装置（労働安全衛生規則 第 333 条および電気設備の技術基準 第 28 条、第 41 条に規定されている装置）が設置されていることを確認してください。**
- **電源に過電流保護装置（高圧洗浄機 14/170 は 20A、高圧洗浄機 15/200 は 30A）が設置されていることを確認してください。**

ポンプオイルの補給

① 本機のポンプオイルは出荷時に給油されています。
初めて運転する場合には念のため、P.17『保守・点検』を参照し、ポンプオイルを確認してください。
② ポンプオイルが不足している場合は補充してください。汚れている場合は交換してください。

⚠ 注 意

- **オイルは、4 サイクルエンジンオイル SAE10W-30 クラス品をご使用ください。**

標準付属品および別販売品の確認

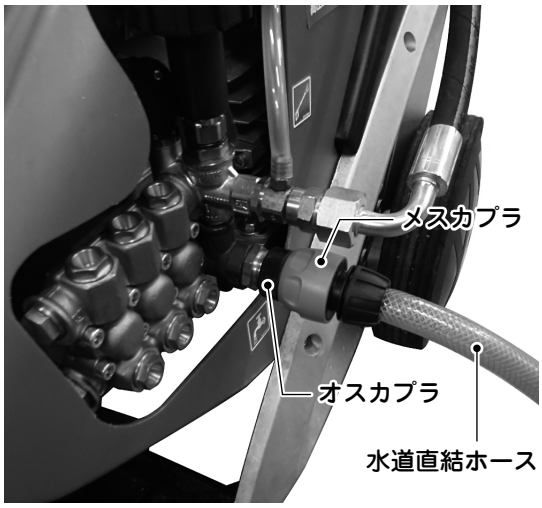
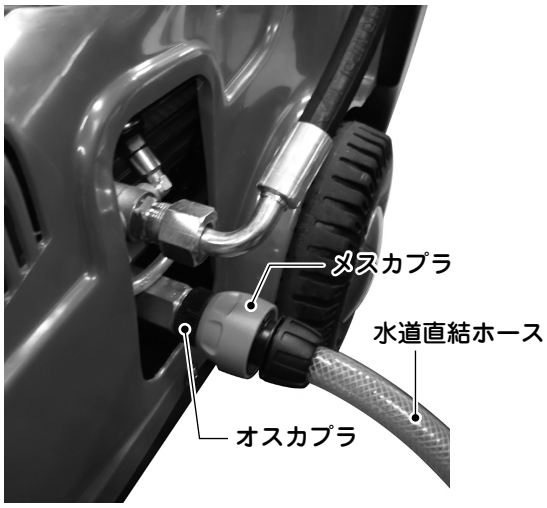
⚠ 注 意

- **作業前には、ガン・高圧ホース・洗管ホースなどの各標準付属品および別販売品を点検してください。**
  これらの標準付属品、別販売品に損傷があった場合、高圧水が噴出します。特に洗管ホースに損傷があった場合、作業中に先端部が破損し、配管内に部品が残る場合があります。

高圧洗浄機 14/170・15/200

給水ホースの準備

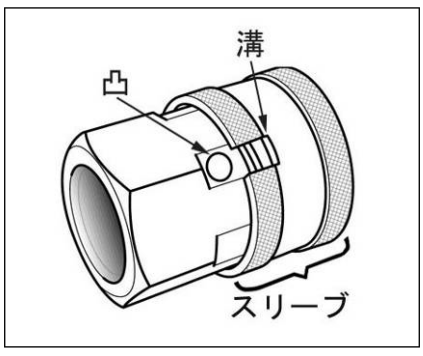
① 本機の給水口に取付けられたオスカプラにメスカプラを差し込みます。

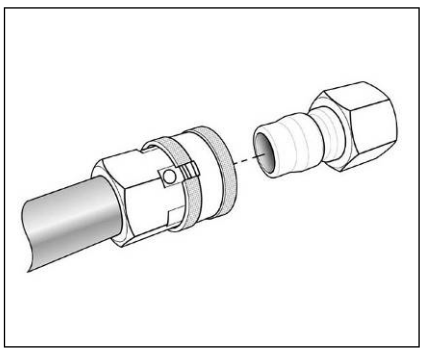
高圧洗浄機 14/170	高圧洗浄機 15/200
	

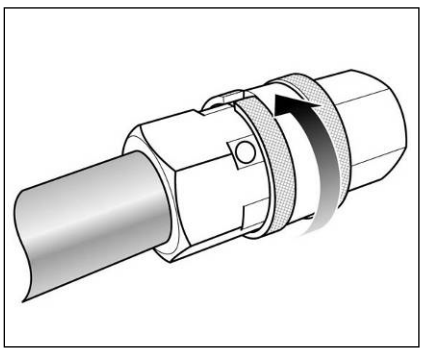
使用方法

高圧ホースとガンの接続

① ガン側のワンタッチカプラ（メス）と高圧ホース側のワンタッチカプラ（オス）を接続します。
② ワンタッチカプラのスリーブを回し、カプラをロックします。







⚠ 注 意

◆ **接続は確実に実施してください。**
差し込みが不十分だと、高圧水が噴出して危険です。
◆ **ロックは必ず実施してください。**
不意に接続が外れると、高圧水が噴出して危険です。

運　転

① 新品時は各部がなじんでいないので、無理な使い方をすると本機の寿命を短くします。

⚠ 注 意

- **◆ 感電防止のため、必ず接地（アース）を行ってください。**
- **◆ 接地工事（地中に接地極・アース板・アース棒を埋め、接地線を接続するなどの工事）を行うためには、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店にご相談ください。**

始動方法

① 各部が確実に接続されていることを確認して水源を開きます。

② 本機の電源が OFF になっていることを確認して、電源プラグを電源に差し込みます。

③ ガンのトリガーを引き、ガンから水が出てきたところで、電源スイッチを ON にします。

④ 噴射水が安定するまで、しばらく噴射し続けます。

⚠ 注 意

- **◆ 目を保護するために、必ず保護めがねを着用してください。**
  噴射水が砂や泥などと一緒に跳ね返ってくることがあります。
- **◆ 通常、始動後 10 秒程度で高圧水が噴射されます。それ以上経過しても噴射されない場合は、異常が想定されるので運転を中止し、本書の P.20『修理・サービスを依頼される前に』を参照して原因を調べてください。**
- **◆ ガンを絶対に人や動物、本機、電気器具類に向けないでください。**
  誤って噴射すると大変危険です。
  本機や他の電気器具、電源などに噴射するとショートしたり、感電する恐れがあります。
- **◆ ガンのトリガーを引いたままの状態で固定しないでください。**
  不意に電源が入ると高圧水が噴射され危険です。

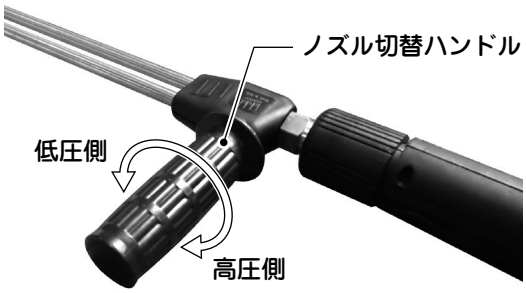
高圧洗浄機 14/170・15/200

洗浄作業

① 本機はオートストップ機能を搭載しています。トリガーを引くと直ちに噴射し、トリガーを放すと噴射が停止します。また、噴射を停止すると約 30 秒後にモータが自動的に停止します。

② 再びトリガーを引くと、自動的にモータが始動して噴射が開始されます。

③ ガンのノズル切替ハンドルを回すことによって、高圧扇形噴射（15 度）と低圧扇形噴射（50 度）の噴射パターンを選択することができます。



④ ガンをしっかり持ち、ノズルを目標物に向けてトリガーを引き、洗浄作業を行ってください。

⑤ 別販売品の圧力調整のできないガンや洗管ホースを使用する場合は、本機の圧力調整ノブを回して圧力を調整してください。

高圧洗浄機 14/170	高圧洗浄機 15/200

⚠ 注 意

◆ **ガンを絶対に人や動物、本機、電気器具類に向けないでください。**
誤って噴射すると大変危険です。
本機や他の電気器具、電源などに噴射するとショートしたり、感電する恐れがあります。

◆ **ガンを両手でしっかりと持ち、洗浄してください。**
噴射水の反動でガンがはじき飛ばされ、思わぬ事故を招く恐れがあります。

◆ **ガラスなど粉砕されやすい物に向けて噴射する場合は、十分注意して行ってください。**
対象物が粉砕、破壊されて危険です。

◆ **ガンのトリガーを引いたままの状態で固定しないでください。**
不意に電源が入ると高圧水が噴射され危険です。

◆ **トリガー部のストッパーは、不意にトリガーが引かれて事故になることを防止しています。作業を行わない場合は、必ずロックしてください。**

◆ **本機はトリガーを放し噴射を停止することによって、約 30 秒後に自動的にモータが停止します。ただし、しばらく作業しない場合は、安全確保のため電源スイッチを OFF にしてください。**

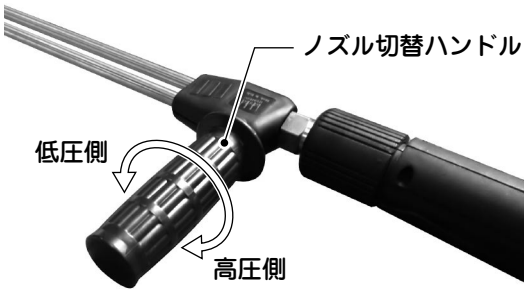
◆ **空運転では、オートストップ機能は作動しません。オートストップ機能を作動させるためには、ポンプに水を供給する必要があります。**

洗剤の混入方法

① 洗剤注入口のキャップを外し、洗剤を入れてください。

高圧洗浄機 14/170	高圧洗浄機 15/200
タンク容量：7.5L	タンク容量：5L

② ランス中間部のノズル切替ハンドルを低圧側に目一杯回します。

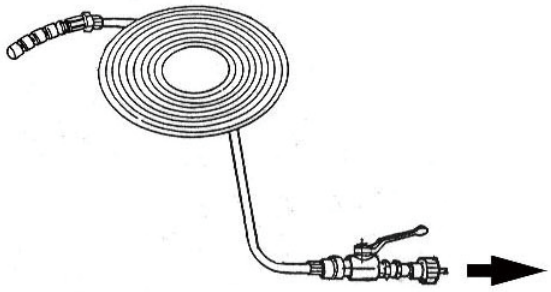
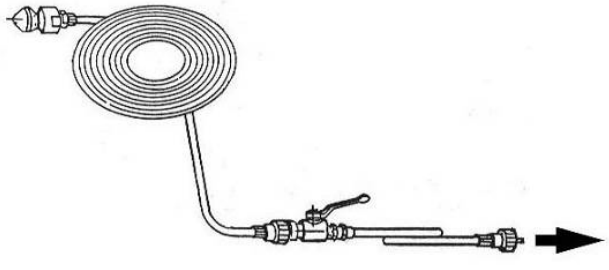


③ ガンをしっかり持ち、ノズルを目標物に向けてトリガーを引き、洗浄作業を開始します。

最大洗剤混入量	
高圧洗浄機 14/170	高圧洗浄機 15/200
0.7L/min	1.2L/min

洗管ホース（別販売品）の使用方法

① 洗管ホースを高圧ホースに接続し、コックを閉じます。
コックは、レバーとホースが直角方向で全閉となり、水平方向が全開となります。

1/4”洗管ホース	3/8”洗管ホース
	

② 洗管ホースの先端を洗浄対象のパイプの中へ 1m 程度挿入します。

③ 洗管ホースをしっかりと持ち、電源スイッチを ON にします。

④ コックを全開にして、洗浄作業を開始します。
洗管ホースは噴射水によって自ら進んでいきますが、引き戻し前進後退を繰り返すことによって洗浄効果がより高くなります。

⚠ 注 意

◆ **必ず高圧ホースに接続してください。**
ポンプ吐出口に接続すると、異常に高圧となりアンローダバルブが破損します。

◆ **洗管ホースを引き戻す際、エルボなどの継手に引っかかる場合があります。**
この場合、無理に引っ張ると先端のノズルなどが外れます。
引っかかった場合は、無理に引っ張らないで、何度か前進後退を繰り返して引き戻してください。
外れた部品が配管内に残る可能性があります。

作業の終了

① トリガーを放し、電源スイッチを OFF にします。

② 水源を止め、再度トリガーを握り、高圧ホースとポンプ内の圧力を開放してください。

③ ガン、水道直結ホースを外します。

④ 電源スイッチを ON にして約 30 秒間空運転し、ポンプ内の水を抜いてください。

⑤ ガンのノズルを上に向け、トリガーを引いてください。ガン内部の水が排出されます。

⑥ トリガーをロックしてください。

⑦ 各部に損傷・破損がないことを確認し、外気温が 0 ℃以上の屋内に保管してください。

⚠ 注 意

- **噴射を止めて電源スイッチを OFF にした後、必ず一度トリガーを引いて、高圧ホース、ポンプ内の圧力を開放してください。**
  不意にトリガーが引かれた際、高圧水が噴射され危険です。
- **ガンのトリガーを引いたままの状態で固定しないでください。**
  不意に電源が入ると高圧水が噴射され危険です。
- **トリガー部のストッパーは、不意にトリガーが引かれて事故になることを防止しています。作業を行わない場合は、必ずロックしてください。**
- **冬季など 0℃以下になる場所では、必ず水抜きを行ってください。また、外気温が 0℃以上の屋内に保管してください。やむを得ず屋外に保管する場合は、ポンプ内に不凍液を吸わせ、水や雪などがかからない状態にして保管してください。**
  ポンプ内が凍結したままモータを始動させると、ポンプおよびモータが破損します。

高圧洗浄機 14/170・15/200

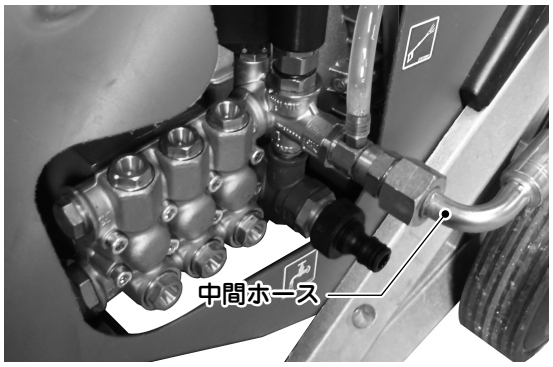
保守・点検

ポンプオイルの交換（高圧洗浄機 14/170）

ポンプオイルの交換時期	
1 回目	運転 50 時間後
2 回目	運転 200 時間後

ポンプオイルの種類
4 サイクルエンジンオイル （SAE10W-30 または SAE30 番のいずれかのグレード）

① ポンプ吐出口から中間ホースを外してください。



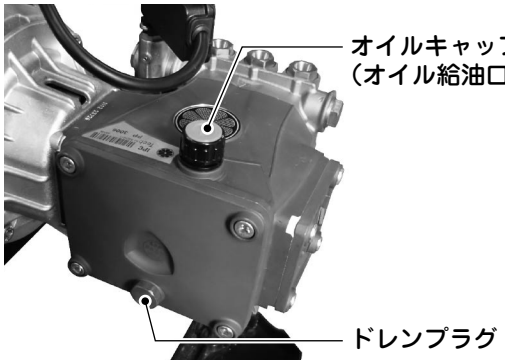
② 標準付属品の六角棒レンチ 4mm と六角棒レンチ 5mm を使用してカバーを外してください。

③ ドレンプラグの下にオイル受けを用意してください。

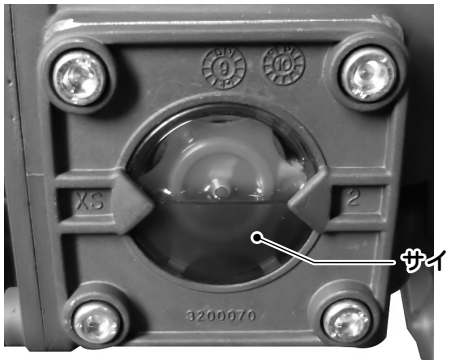
④ ドレンプラグ、オイルキャップの順に外してください。
オイルが排出されます。

⑤ ドレンプラグを確実に締めてください。

⑥ オイルキャップを外し、新しいポンプオイルをオイル給油口から給油ください。



⑦ サイトグラスを確認し、サイトグラス中央までポンプオイルを給油してください。



⚠ 注 意

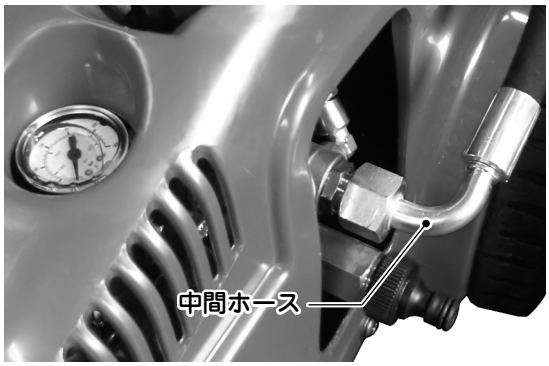
- **ポンプオイルを点検した際にオイルが白濁・変色している場合には、交換時期に達していない場合でもポンプオイルを交換してください。**
- **ポンプオイルの排出を効率よく行うために、交換作業は洗浄作業完了後のポンプオイルの暖かいうちに行ってください。**
- **洗浄作業完了直後は、ポンプオイルが高温になっています。**
  ポンプオイル交換時、高温になったポンプオイルが手や体にかかると火傷する恐れがあります。
- **ポンプオイル交換後は、ドレンプラグとオイルキャップを確実に締めてください。**
  オイルが漏れます。

ポンプオイルの交換（高圧洗浄機 15/200）

ポンプオイルの交換時期	
1 回目	運転 50 時間後
2 回目	運転 200 時間後

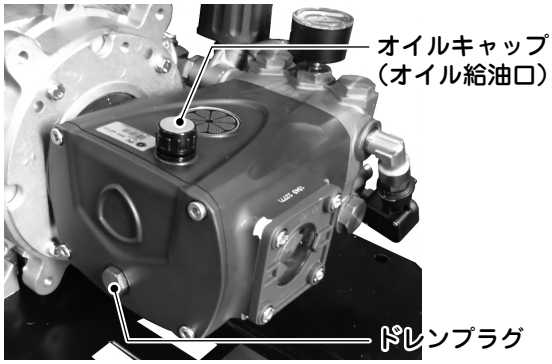
ポンプオイルの種類
4 サイクルエンジンオイル （SAE10W-30 または SAE30 番のいずれかのグレード）

① ポンプ吐出口から中間ホースを外してください。

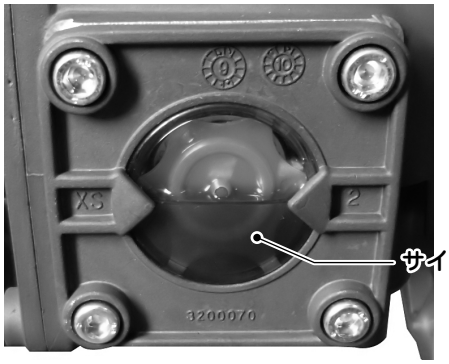


② ＋ドライバーを使用してカバーを外してください。

③ ドレンプラグの下にオイル受けを用意してください。
④ ドレンプラグ、オイルキャップの順に外してください。
オイルが排出されます。
⑤ ドレンプラグを確実に締めてください。
⑥ オイルキャップを外し、新しいポンプオイルをオイル給油口から給油してください。



⑦ サイトグラスを確認し、サイトグラス中央までポンプオイルを給油してください。



⚠ 注 意

- **ポンプオイルを点検した際にオイルが白濁・変色している場合には、交換時期に達していない場合でもポンプオイルを交換してください。**
- **ポンプオイルの排出を効率よく行うために、交換作業は洗浄作業完了後のポンプオイルの暖かいうちに行ってください。**
- **洗浄作業完了直後は、ポンプオイルが高温になっています。**
  ポンプオイル交換時、高温になったポンプオイルが手や体にかかると火傷する恐れがあります。
- **ポンプオイル交換後は、ドレンプラグとオイルキャップを確実に締めてください。**
  オイルが漏れます。

高圧洗浄機 14/170・15/200

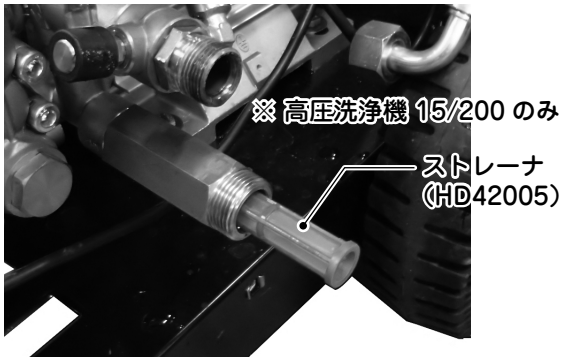
フィルタ・ストレーナの点検

点検・清掃時は、フィルタおよびストレーナの網を傷つけないように注意してください。

網が破れている場合は、新品と交換してください。

※ストレーナは、高圧洗浄機 15/200 のみ付属です。

長期間（おおむね 1 ヶ月以上）使用しなかった場合は、必ず使用前にストレーナを点検・清掃してください。

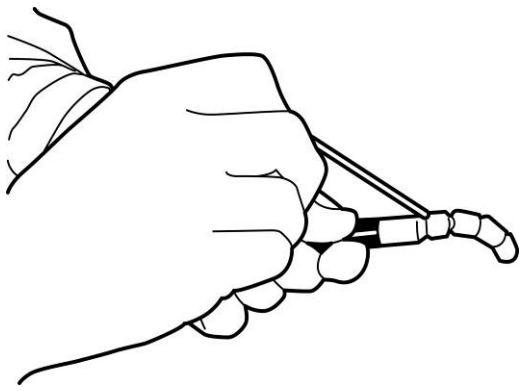


下記の症状が発生したら、ストレーナを清掃してください。

・まったく吸水しない、または断続的に吸水している
・高圧ホースが異常に振動する
・圧力が規定値まで上昇しない
・圧力が安定しない

ノズルの清掃

ガンや洗管ホースのノズル穴が詰まった場合は、細い針金などを使用して取り除いてください。

ガンのノズル穴	洗管ホース（別販売品）のノズル穴
	

ノズルの詰まりを取り除くことができない場合やノズルを交換する場合は、弊社へお問い合わせください。

コード No.	品　名
HD414	扇形ノズル 1112（高圧ノズル）
HD28021	低圧ノズル 5040（低圧ノズル）

⚠ 注 意

◆ ノズルは消耗品です。他の部分に異常がなく圧力が低い場合は、ノズルの消耗による交換が必要と考えられますので、交換してください。交換の頻度は、水道のミネラル類の含有量によって異なりますが、圧力がおおよそ 85%以下になったら、交換が必要です。

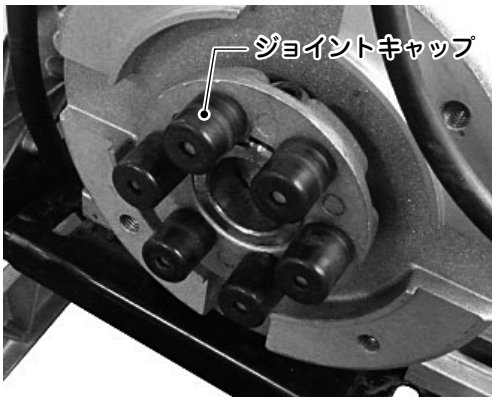
修理・サービスを依頼される前に

● 修理・サービスを依頼される前に下記の故障診断にしたがって点検してください。
それでも解決されない場合は、弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

● 正しくご使用いただかない場合や、本商品の用途以外に使用して故障した場合は、保証の対象外となります。

症　状	原　因	対　策
モータが始動しない（起動音がしない）	電気がきていない	電源を確認する
	電源ブレーカの短絡 電源プラグの接触不良 電源コードの断線 電源スイッチ、電磁接触器の不良	電源ブレーカ、電源プラグ、電源コード、電源スイッチ、電磁接触器を点検・修理する
	本機が漏電している	漏電箇所を点検・修理する
モータが始動しない（起動音はする）	電圧が低い	電圧を確認し、延長コードを使用しない
	単相電源になっている	三相電源を使用する
	ポンプ内が凍結している	ゆっくりと解氷する
	ポンプの動きが硬い	ポンプを点検・修理する
モータが突然止まる	電源ブレーカが作動した	電源ブレーカの容量を確認する
	モータの故障	モータを修理・交換する
吐出水量が少ない	本機への供給水量が少ない	給水水量を確認し、必要水量を確保する
	ノズル穴が詰まっている	詰まりを取り除く
	ノズルが消耗している	ノズルを交換する
	給水口のストレーナが詰まっている	詰まりを取り除く
圧力が上がらない	高圧側のノズルを使用していない	高圧側へ切り替える
	アンローダバルブが低圧になっている	圧力調整ノブを閉めこむ
	給水ホースと本体接続部から空気が混入している	給水ホースを点検し、締め直す
	ノズル穴が詰まっている	詰まりを取り除く
	ノズルが消耗している	ノズルを交換する
	給水口のストレーナが詰まっている	詰まりを取り除く
	ポンプまたはアンローダバルブが故障している	ポンプ・アンローダバルブを修理・交換する
	本機への供給水量が少ない	給水水量を確認し、必要水量を確保する
圧力が不安定 高圧ホースが異常振動する 異常音がする	給水ホースと本体接続部から空気が混入している	給水ホースを点検し、締め直す
	給水温度が高い	給水温度を下げる（40℃以下）
	ポンプオイルが不足または汚れている	ポンプオイルを交換する
	ポンプ内のＶパッキンが磨耗している	Ｖパッキンを交換する。
	ポンプまたはアンローダバルブが故障している	ポンプ・アンローダバルブを修理・交換する
	ノズル穴が詰まっている	詰まりを取り除く
	ノズルが消耗している	ノズルを交換する
水漏れ	各接続部が緩んでいる	締め直す
	各パッキン・Ｏリング類が磨耗している	点検・交換する

高圧洗浄機 14/170・15/200

症　状	原　因	対　策
異常音がする 異常振動がする （高圧洗浄機14/170のみ）	ポンプとモータのジョイント部に使用されているジョイントキャップの摩耗  	ジョイントキャップを交換する ※ジョイントキャップは消耗品です。 ジョイントキャップ（6 個入り） No.HD28025

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号:
購入年月日:　　年　　月
お買い求めの販売店:

Asada
アサダ株式会社

本　　社　名古屋市北区上飯田西町 3-60
TEL(052)911-7165　E-mail:sales@asada.co.jp
支　　店／東京・名古屋・大阪
営　業　所／札幌・仙台・さいたま・横浜・広島・福岡
http://www.asada.co.jp

海外事業所
アサダ・タイランド社　(バ ン コ ク)
台湾浅田股份有限公司　(台　　北)
アサダ・アーロンコ マシナリー社　(クアラルンプール)
アサダ・ベトナム社　(ホ ー チ ミ ン)
上海浅田進出口有限公司　(上　　海)
アサダ USA　(オレゴン州・ユージン)

工　場
犬山工場　(愛知県・犬山市)
第一精工株式会社　(松 阪 市)
アサダ・マシナリー社　(バンコク)

お客様相談センター　0120-114510 (イイシゴト)　〈受付時間〉AM9:00～12:00　PM13:00～17:00 (土・日・祝日は除く)

コード No. IM0291　PRINT No. 1304000A